

株式会社バンダイナムコフィルムワークス

2022年11月29日

**社員と家族のコミュニケーションイベント第3弾
「IP プロデュースユニット 秋の文化祭 2022」を
11月12日(土)に開催！**

株式会社バンダイナムコフィルムワークス(代表取締役社長:浅沼誠)は、社員およびその家族に向けたコミュニケーション施策の一環として、「IP プロデュースユニット 秋の文化祭 2022」を11月12日(土)に開催いたしました。昨年7月にオンラインで実施した「ファミリーイベント七夕まつり 2021」に続く第3弾となる今回は、オンライン開催に加え、社員の家族を本社社屋に招待した職場見学ツアー(ホワイトベース VIP エクスペリエンスツアー)も同時開催。自社 IP(*)やアニメーション制作について楽しく学び、家族や同僚とのコミュニケーションが深まるイベントとなりました。

*IP: Intellectual Property キャラクターなどの知的財産

■「IP プロデュースユニット 秋の文化祭2022」

IP プロデュースユニットは「“いいもの”をつくり続ける」ことをミッションとし、バンダイナムコグループの中においてIP創出の強化を目指すユニットです。

そのユニットの社員と家族を対象に、今回は「秋の文化祭」をテーマとし、オンラインでは社員や家族が制作したアート作品のコンテストなどを開催、職場見学ツアーでは“いいもの”を生み出すアニメーション制作の職場見学や制作体験など、さまざまな形で“いいもの”に触れるコンテンツを楽しみました。

**【開催概要】**

実施日: 2022年11月12日(土)

参加対象: バンダイナムコグループ IP プロデュースユニットの全社員とその家族

開催会場: オンライン会場

ホワイトベース会場(荻窪本社)

■イベントの一部をご紹介します！

◇職場見学ツアー(ホワイトベース VIP エクスペリエンスツアー)

【アニメーション教室】

IP プロデュースユニットの一員である株式会社 SUNRISE BEYOND のオリジナルロボットアニメ『境界戦機』の監督も務める羽原取締役が講師となり、アニメーション制作の工程の一つ、トレスを体験。現役で活躍する監督からレクチャーを受けることができる貴重な機会となりました。



当日の講師、羽原信義取締役



参加者は夢中でトレスを体験していました。



【社内スタンプラリー&おしごと体験】

社屋をめぐるスタンプラリーでは、株式会社バンダイナムコフィルムワークスの浅沼社長から承認印をもらったり、キャラクターが描かれた会議室を見て回ったりしました。また、会議室で家族へ手紙を書いた後、社内のメールセンターへ投函するなどのお仕事も体験しました。心のこもったお手紙は後日社員の元へ届けられました。



社長も思わず笑みがこぼれます。 普段は入れない会議室の見学や、書類(家族への手紙)発送などを体験。

【ガンプラ制作体験】

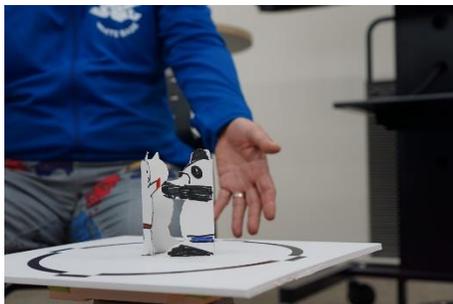
バンダイナムコフィルムワークスの大切な IP の一つ、ガンダムシリーズのプラモデル「ガンプラ」に関する豆知識を聞きながら、初めてでも楽しめるガンプラ制作を体験。参加者は集中して組み立てていました。



◇オンラインコンテンツ

【部門対抗カミズモウバトル！】

部門対抗で手作りの紙相撲トーナメントを行いました。各部がデザインした力士が集まり数々の名勝負が繰り広げられる中、決勝戦は法務部「六法全書くん」と経理部の「でんたくん」。普段縁の下の力持ちとして会社を支える部署が活躍する結果に視聴者も盛り上がりました。



オリジナルのキャラクターを描いた力士など、個性豊かな力士が集まりました。

【これはイモものだコンテスト】

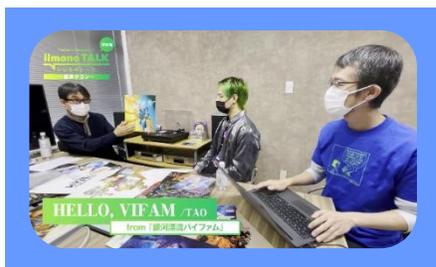
IP プロデュースユニットにまつわる IP をモチーフにしたアート作品を社員とその家族から募集し、コンテストを行いました。キャラクター愛に溢れる作品が多数集まる中、社員投票により、社員家族(9歳)が作成したガンダムの世界観を表現したアイロンビーズが最優秀賞を獲得しました。



アイロンビーズのほか、フィギュアや手料理などさまざまな作品が集まりました。

【iimono TALK】

社員が自分の良いと思うものについて、ちょっとマニアックな話を繰り広げる iimono TALK では、映像化した漫画や、社内から寄せられたおすすめ漫画について語る「漫画サロン」と、IP プロデュースユニット内の名曲を掘り下げる「音楽サロン」の2つのトークで盛り上がりました。



漫画好き、音楽好きの社員が集まり、作品に対する熱い想いを語り合いました。

IPプロデュースユニットは「“いいもの”をつくり続ける」エンターテインメント企業として、今後も社員やその家族をはじめとしたステークホルダーと共に楽しめるコミュニケーション施策に取り組んでいきます。